

もくじ

広報

# れんげい



小中学校卒業式	2
教育の重点	3
むら・まち情報〈和束町〉	4
むら・まち情報〈南山城村〉	7
むら・まち情報〈笠置町〉	10
きょういく	11
地域情報	14

第97号

2014.4

## 祝 府道湯船バイパス開通 ～170人が渡り初め～



3月4日(火)府道木津信楽線湯船バイパス(延長420m)の完成を祝って開通式典が開かれました。

警察音楽隊のマーチにあわせて、地元住民、和束保育園児らが湯船バイパスの渡り初めをしました。

◀和束保育園児と記念撮影

# 完成 府道木津信楽線 湯船バイパス

## 祝・開通式



3月4日(火)府道木津信楽線湯船バイパス(延長420m)の開通式典が開かれ、湯船区民ら約170人が参加されました。

式典では、堀町長が、「和束町の東西を貫く大動脈である府道木津信楽線は、生活に密着した道路であり、風水害時等に対する防災面も備えた、大変意義のある整備ができました。」と用地提供者、京都府、地元湯船区、工事関係者に謝辞を述べました。

来賓の、京都府山城広域振興局井上局長、安藤衆議院議員、兎本府会議員からそれぞれ祝辞が述べられました。

今回は、湯船区内で最も狭隘部であった区間がバイパス化されたことで、旧道周辺の住民の住環境は格段に改善され、また通過交通に対しては、特に大型離合時の渋滞解消になるな



開通を祝ってテープカット



警察音楽隊の伴奏にあわせて渡り初め



夜出歩く時は明るい服装で



開通を前に交通安全教室

ど、当路線の果たす役割は大きく、参加された地元住民からも、待ちに待った日がやってきたという声などが聞かれました。

式典終了後は、渡り初め式が行われ、警察音楽隊カラーガード隊を先頭に音楽隊、来賓のみなさまと和束町保育園児、湯船区民のみなさんがそろって渡り初めをおこなわれました。

また、この日は、開通式に先立って、湯船区民を対象に交通安全教室も行われました。湯船バイパス開通に伴い交通量の増大や大型化が予測されます。この教室は特に高齢者を対象とした教室が行われ、教室終了後は、警察音楽隊の演奏などもおこなわれました。

# 多くの来場者で賑わう

## 第12回和束町人権フェスティバル

3月9日(日)第12回和束町人権フェスティバルが人権ふれあいセンターと周辺施設で開催されました。

この人権フェスティバルは、「和を束ねみんなでつくる人権のまちをメインテーマに人権の世紀といわれる21世紀を真の人権の世紀にと、人権を身近に考え、人権感覚を育み、人権尊重の町につなげていくことを目的に町内23の団体で実行委員会を組織し、開かれました。

午前の部では、メイン会場の人権ふれあいセンター大ホールで、和束保育園の園児たちが、表情タップリに大声を張りあげて元気いっぱい、に歌と遊戯を披露してくれました。園児たちの明るく元気な歌声がホールいっぱい響くと、参加者の皆さまからは暖かくて大きな拍手が送られていました。



子どもたちに大人気のクラウンショー

続いて、ステージミックとクラウンショーが披露されました。ステージミックでは、プロマジシャンのフーガさんによる手品やイリュージョンなど、また急ぎよ会場のお客様をステージにお迎えして、二人羽織で「ミカル」マジックを披露するなど会場は大盛り上がりでした。また、マーキさんのクラウンショーでは、リングを使ったシヤクリンクを披露され、こちらも大喜びで本気に楽しそうでした。

式典では、実行委員会を代表して実行委員長の堀町長から祝辞が述べられ、第2部の幕が開けられました。式典の後の、「ファミリー劇団『侍』」による歌謡舞踊ショーと大衆演劇は、開催前から楽しみにしていた方も多く、参加された皆さんも改めて親子の絆の強さを感じる事ができたのではないのでしょうか。

今回のフェスティバルも例年のとおり大盛況で、参加された皆さんは、「良かった、楽しかった、来年もまた来たい。」などと感想を話され、保育園児の歌と遊戯やステージミック、クラウンショーや演劇をお楽しみいただきました。

# 森脇副町長、任期満了で退任

3期12年



和東町の副町長を務めた

森脇美隆さんが2月28日(金)任期満了で退任されました。役場住民ホールで行われた退任式で森脇さんは「町職員も含め、46年11箇月務めることができました。これもみなさまの暖かいご支援のおかげで今日の日を迎えることができました。これからも堀町長を筆頭に「キラッと光る」まちづくりに取り組んでいただきたい。」とあいさつされました。



職員の暖かい拍手により見送られる森脇副町長長い間、お疲れさまでした。

堀町長は「私の公約で収入役を置かず、これまで12年間森脇副町長と2人3脚で取り組んできました。退任は、時の流れにより致し方ない事だと思っています。これから住民の立場で和東町に対してのご支援ご協力を賜りたい。」と12年間の労をねぎらいました。最後に町職員からの暖かい拍手で庁舎をあとにされました。

# 隣近所に声かけあつて避難を

防災行政無線を活用した避難訓練



3月2日(日)午後2時から、中区古京地域と大杉地域20世帯56人を対象に、防災行政無線を使用した避難訓練がおこなわれました。この訓練は、大雨により、和東川及び坊川の氾濫と土砂災害が予測されるため、避難勧告を発令し、対象地域住民はB&G海洋センターへ避難するとの想定でおこなわれました。防災行政無線による避難勧告発令の放送の後、対象地域の住民の皆さんは消防団の誘導のもと、真剣な面持ちでB&G海洋センターへ避難されました。

この訓練に参加されたのは13世帯25人で訓練開始から40分後、避難所への訓練が完了しました。

避難所では、堀町長から「今日は訓練に参加いただきありがとうございます。防災行政無線が4月から本格運用いたします。実際避難勧告が発生しては大変なことですが、本日の訓練のように、万一避難勧告を



和東海洋センターに避難されたみなさん



有事の際は団体行動で避難を

に、万一避難勧告を発令した場合はご家族、ご近所声かけあつて迅速に避難してください。」と講評しました。参加されたみなさんは「本当にこんなことがあったら大変ですが、隣近所が寄り合う良い機会になったのではないか。」と話されていました。

# 和束小学校で 合同訓練



3月2日(日)、相楽中部消防協議会構成の4市町村消防団(木津川市・笠置町・和束町・南山城村)と相楽中部消防組合消防本部による合同訓練が和束小学校でおこなわれました。

この日の訓練は、京都府南部に乾燥・強風注意報が発表され、和束小学校職員室から出火、延焼拡大し、他の教室および付近の建物へ延焼の危険があるとの想定で開かれました。

合同訓練は、大規模火災発生時に消防本部から協議会長を通じ、4市町村の各消防団に応援要請をおこない、現場活動における指揮統制の確立と消防本部と消防団の連携、円滑な防御活動の向上を図ることを目的としています。

訓練では、消防団員等約120人が早朝から参加。消防車両10台も出動し、サイレンが鳴り響き、緊迫した雰囲気の中で団員は、きびきびと活動し、本番さながらの訓練となりました。



# 親子で和束町ならではの体験を お菓子づくり・ものづくり教室

和束町の抹茶とお茶の木を使った親子体験教室が、2月8日(土)、てらす和豆香と和束茶カフェ前のガラスハウスでおこなわれました。

午前は、「和束・親子お菓子づくり教室」が開かれ、恋茶グループのみなさんを講師に、和束産抹茶を使った「抹茶チョコ」と「抹茶とら焼きづくり」に取り組み、午後からは、「和束・お茶の木でものづくり教室」が開かれ、和束の森探検隊のみなさんを講師に、和束町のお茶の木を使ってスプーンづくりに挑戦しました。

子どもたちは、初めての作業に戸惑いながらも、親子で楽しくものづくりに取り組みました。

今回の体験を通して、和束町の魅力が楽しい思い出とともに、参加してくださったみなさんに伝わったことでしょう。



包丁をつかってチョコを刻みました



少しずつ、こつこつ削ります

# これからもずっと、 おいしい和束茶を

和束茶のこれからを考える  
シンポジウム

和束茶のこれからを考える「和束茶の昔と今、そしてこれから語るシンポジウム」が2月9日(日)、グリーンティ和束で開かれました。

第一部では、NPO法人和束ティー・フレンズ藤井孝夫副理事長が、かつて海外へ輸出されていた和束茶のラベル等、古い資料を用いながら、和束町における茶業の歴史について講演されました。

第二部では、麻織物の産地・旧能登川町(現東近江市)の「ファブリカ村」という、ものづくり体験施設から北川陽子さんを講師に迎え、産地ならではの心を込めたものづくりと地域ブランドとの関わりについて講演いただきました。



車座になってざっくばらんに座談会

え、参加者のみなさんで車座になって座談会が行われました。町内外から多様な人々が集まり、それぞれの視点から「和束茶」について広く意見が交わられました。